

令和四年度 学校関係者評価報告書

学)高見学園 高見幼稚園

1. 本園の教育目標

子どもの笑顔を喜び、健やかな成長を願い、一人ひとりの感性を伸ばし、仏の子どもを育てます。

○みほとけさまに手を合わせるやさしい子どもを育てます

○明るく元気の良い子どもを育てます

○人のおはなしが上手にきける子どもを育てます

○友だちと仲良く遊べる子どもを育てます

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

親鸞聖人が示されている教えを基礎とする心の教育を中心として、音感教育、食育、知育を行いながら、幼稚園の特色であり、且つ子どもたちの成長が如実に見られる行事への積極的な取り組みを行う中で、各教員が自らの教育姿勢に真摯に向き合い、保育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育について	今年度は昨年度とは異なり、新型コロナウイルス感染症の影響が若干緩和されたことにより、園における教育活動も、徐々にではあるが、コロナ禍以前のような取り組みが再開できる場面もみられた。 そのような状況にあっても、感染症予防に対する配慮は怠ることなく、園児の安全を最優先として、子どもたちの「遊び」「学び」の機会確保に努めることが出来た。 また、家庭と幼稚園との間におけるコミュニケーションについても、昨年に比較して行えることが出来、園の教育活動やそのねらいについて共有することで、園と保護者の間で信頼関係が醸成され、園児、保護者、保育者の間で、心を通わせながら保育を行うことが出来た。
2	行事への取り組み	上述1と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響が若干緩和されたことにより、行事への取り組みについても感染症予防に取り組みながら少しずつ以前の形にて行うことが出来た。 一方で、コロナ禍以前の行事の在り方を3年間経験していない保護者や教職員にとっては、負担感につながる場面も見られた。それぞれの行事の実施していく上で、保護者にゆだねる内容などについては、より丁寧な説明を行っていくことを課題としたい。 園児、保護者、保育者の三者がそれぞれの行事に積極的に参加をし、子どもの大きな成長をともに喜びあえるよう、来年度に向けて準備を行っていききたい。
3	感染症予防について	保護者、園双方で、感染症への脅威と、予防に必要な取り組みを十分理解し、それに必要な対策を積極的に行うことが出来た。毎朝の検温、マスク着用の徹底、登園時の消毒、家庭での健康観察など、保護者に多くの理解と協力を得ることが出来た。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

「まことの保育」を教育の中心に据えるなかで、職員全員が自分の思いのみを中心にして進める保育ではなく、仏さまの教えをよりどころとする保育の実践を行うことが出来た。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園児の安全	園児の安全を最優先とした、対策の徹底、保護者への協力依頼 バスの置き去り、保育者の虐待等の事件を受けて
2	保育士の不足	幼稚園教諭の処遇改善、保育士の確保
3	コロナ禍後における教育活動	コロナが終息したのちに行う教育活動について、コロナ禍以前に行っていた内容について検討、整理を行い、より充実した教育活動の実施

6. 学校関係者の評価

園や教職員間の雰囲気がよく、愛情をもって、熱心な教育活動を行っていただいているので、安心して子どもを預けることが出来る。本園が教育方針に据えている「まことの保育」の実践、所謂「生きる力」の礎とも言うべき、生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等の豊かな人間性の育成が重要であると実感できた一年であった。今後も園が大切にしている教育理念を中心とした、幼児教育に鋭意取り組んでいただくことを期待する。

学校関係者評価委員